

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

美術科

段階	定義	活動場面	教科の特性を考慮した活動（生徒の立場で記入する。）	ICT の活用
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いや疑問に対して、これまでに学習してきた知識や技能を使って、自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を提示する。 ● 課題に対するイメージを考えさせる。 ● 自分のイメージに合った表現方法を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題に対するイメージを考える。 ● 自分のイメージを表現するには、どんな方法が良いか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子黒板とPCやスマートフォンを接続し、課題に対する表現の技法などを写真や動画で提示し、説明する。 ● タブレットPCを活用し、参考作品やイメージを膨らませるための画像等を検索させる。 ● 自画像などを制作するときに、タブレットPCで自分の写真を撮影させ、その写真を見ながら下絵を描かせる。 ● パワーポイントなどを使って、どのような作品を制作するのかイメージをつかませる。 ● YouTubeなどのコンテンツから表現技法の例を写真や動画で視聴させ、どのような技法で表現していけばよいのかをつかませる。
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 他と対話しながら、自分の考えを比較・吟味するなどして、考えを広げたり深めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のイメージと表現方法を発表させ、全体で意見交換をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のイメージと表現方法を発表し、全体で意見交換をする中で、表現の幅が広がるような考えを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タブレットPCのカメラ機能を用いて、自他の作品を撮影し、互いに鑑賞することで、他の生徒作品のよさや自分の作品のよさについて考えさせる。 ● 電子黒板、タブレットPC、授業支援ソフトを用いて、自分の作品の紹介や他の作品の鑑賞の結果を発表させる。
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれまでの考えと新たな考えをつなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 制作した作品を発表させ、お互いに評価させる。 ● 他の意見を参考に、自分の表現を高める方法を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 作品を発表し、自分が工夫したところや制作で苦労したことなどを他に分かりやすく伝える。 ● 制作した作品を全員で鑑賞し、工夫されているところなどを評価する。 ● 評価された意見を参考にして、自分の表現方法を高める方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 制作途中の作品を撮影しディスプレイに提示することで、制作の方向性の確認や表現内容の修正をさせる。 ● 作品完成後、互いの作品を鑑賞する際に、教材提示装置やタブレットPC、スマートフォンのカメラ機能を活用し、作品細部まで表示することで、表現技法や方法の工夫した点について、より深く鑑賞させる。